

緊急要望書

宇治市長 山本 正 殿

本年7月以降、新型コロナウイルスの感染症の拡大傾向が増し、市内経済は未だに回復には至っておりません。

特に茶業においては、需要の減少から市場価格が低落するなど、事業に支障をきたしております。そのような中、国は第1次補正予算により高収益作物次期作支援交付金を制度化し次期作に前向きに取り組む生産者支援を、京都府においても府内産農産物継続生産支援事業により販売額が減少する等の影響を受けた農作物の再生産に向けた取り組みに対し支援を行っています。

宇治市においても、茶業が市内経済に与える影響は大きく、積極的な支援策を講じるべきところではありますが、これまで活用されてきた補助金が財政健全化推進プランのもとで圧縮された上、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているにも関わらず、未だ十分な支援が行われずにいるところです。

そこで、9月議会を控え、過日、宇治市茶生産組合の方々の意見を聞く機会を頂き、その窮状を伺ったところ、需要減少に伴う茶価の下落による品質低下の懸念や次年時以降の消費動向の変化への対応等、宇治市として、より充実した支援の必要性を確認しました。

手摘み・覆下栽培という確固たる宇治茶ブランドとしての茶生産を継続、維持できるよう、国・府の支援策とは別に上乘せして、更に宇治市独自の支援策を求めるため要望書を提出します。

令和2年9月1日

自民党宇治市会議員団

堀 明 人



中 村 麻伊子



木 本 裕 章



西 川 康 史



鈴 木 崇 義

